

東京大学医学部附属病院 精神神経科
てんかんモニタリングユニット（EMU）に
入院された患者さんへ オプトアウトのお知らせ

当院精神神経科では、てんかんおよびその類縁疾患の診断・治療の向上を目的として、過去にてんかんモニタリングユニット（EMU）に入院された患者さんの診療情報を利用した医学研究を実施しております。

このお知らせは、現在実施中の研究課題「てんかんモニタリングユニットの入院患者におけるてんかんおよびその類縁疾患に関する研究」（審査番号 11898-（7））について、研究方法の一部変更に伴い、ご自身の診療情報が本研究に利用されることを希望されない場合に、その利用を拒否する権利（オプトアウト）を行使していただくためのものです。詳細をご確認いただき、ご不明な点がございましたら下記問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題名】 てんかんモニタリングユニットの入院患者におけるてんかんおよびその類縁疾患に関する研究（審査番号 11898-（7））

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

- ・ 研究機関：東京大学医学部附属病院 精神神経科
- ・ 研究責任者：岡村 由美子（臨床心理士）

【共同研究機関】

- ・ 東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部
- ・ 国立精神・神経医療研究センター病院 第一精神診療部 精神先進医療科
- ・ 上智大学 総合人間科学部 心理学科

【研究期間】

承認日 ～ 2030 年 03 月 31 日

【対象となる方】

過去に東京大学医学部附属病院 精神神経科のてんかんモニタリングユニット（EMU）に入院された患者さん。

【研究の目的】 EMU 入院中に得られた検査結果や診療情報、およびその後の経過などを解析し、てんかんや類縁疾患の特性を明らかにすることで、将来のより良い診断法や治療法の開発に役立てます。

【研究の方法】 患者さんの EMU 入院中に実施された各種検査（長時間ビデオ脳波、画像検査、心理検査等）の結果や診療録に記録された情報を利用させていただきます。また、本研究で得られた情報（匿名化後）を、当科で実施している別の研究『精神神経科診療記録を利用したデータベースの包括的後ろ向き解析』（審査番号 3349）で収集・作成されたデータセット（主な項目：匿名化された患者 ID、年齢、性別、診断名、てんかん発作型、既往歴、治療歴、入院情報、脳波所見、画像検査所見、心理検査結果、生理検査結果、処方薬剤情報など）と連結し、統合的な評価を行い、診療記録の包括的後ろ向き解析での知見を本研究にも活用する場合があります。

【個人情報の保護】 収集する情報は、氏名や生年月日など個人を特定できる情報を削除して匿名化し、個人情報が外部に漏れることのないよう、法令及び院内規定に基づき厳重に管理いたします。

【研究への情報利用を希望されない場合】 ご自身の診療情報等を本研究（上記データ連結を含む）に利用されることを希望されない場合は、大変お手数ですが 2025 年 12 月 31 日までに、下記の問い合わせ先までご連絡ください。ご連絡がない場合は、ご了承いただいたものとして研究を実施させていただきます。研究への不参加を希望された場合でも、診療上の不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】 東京大学医学部附属病院 精神神経科
担当：高橋 優輔 電話：03-3815-5411（代表） 内線 33616（受付時間：平日 9:00～17:00）

【医療機関名・診療科責任者】 医療機関名：東京大学医学部附属病院
診療科名：精神神経科 診療科責任者：笠井 清登

発行日：2025 年 6 月 18 日